

令和4年6月定例記者会見(令和4年6月1日)  
市長原稿(議案以外)

---

それでは、議案以外の資料についてご説明申し上げます。

資料No.9 をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症予防接種の状況と4回目接種の追加事業費についてです。

5月17日までの接種状況、未接種者の対応につきましては記載のとおりです。

4回目の追加接種につきましては、既に国の方針が報道されておりますとおり、対象は、3回目接種から5か月以上経過した、60歳以上の方及び18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方です。

予定している人数は、約17,000人で、昨年度、1回目の接種の際に基礎疾患の申請をされた方と60歳以上の方につきましては、3回目接種と同様にあらかじめ日時・会場指定をする方法で調整しております。

接種券は3回目接種から5か月を目安として準備ができ次第発送しますので、今しばらくお待ちください。

集団接種は7/10以降、福祉保健会館にて実施予定で、7月は7日間、8月は16日間、9月は9日間を予定しております。

運営方法は3回目と同様、被接種者が会場内を移動して接種する方式で実施する予定です。

基礎疾患のある方で新たに申請される場合の方法や接種に関する詳しいお知らせは、各御家庭に今後配布予定のチラシまたは接種券に同封の説明書等をご覧ください。

皆様のご協力をお願い致します。

次に、資料No.10 をご覧ください。

市職員の新型コロナウイルス感染の公表について、市役所には不特定者が来庁することから、市ではこれまで職員の新型コロナウイルスの感染が確認された際には、報道提供や公式ウェブサイト等での公表を行ってまいりましたが、ウイズコロナの状況下、新しい生活様式の実践、ワクチン接種による感染予防対策を行っており、市役所においても感染状況を踏まえた感染拡大防止の対策を講じて業務を行っていることから、現状において濃厚接触者の可能性は低く、市の業務に支障がないため、市職員の新型コロナウイルス感染の報道提供や公式ウェブサイト等への掲載を行わないこととします。

ただし、市職員の感染により市政や市民に影響を及ぼす場合は、これまでとおり速やかに報道発表や公式ウェブサイト等により公表し周知をいたします。

また、感染情報は静岡県東部保健所の情報を基に市内の感染情報(県公表番号年

代・推定感染経路の情報)を日々、同報無線、市 LINE、まもメールで情報発信していましたが、今後においては、感染状況を踏まえ感染拡大の注意喚起などのアラートのな運用とし必要に応じて随時行うこととします。

次に、資料No.11 をご覧ください。

令和5年4月採用職員の採用試験の募集を開始しました。

より人物に重きを置いた選考方法を採用し、挑戦してみようという誰もが受験しやすい試験制度を目指しました。

教養試験を廃止し、適性検査 SPI を導入し、様々な分野にチャレンジしている人の受験を期待しています。

第2次試験の面接試験は Web 形式で実施します。

また、職務経験者の職種区分を新設しました。

「すその」を愛し、誇りと責任を持って、市民の期待と信頼に応えるために行動できる職員を求めています。

裾野市職員として働きたい・挑戦したい方の募集をお待ちしております。

次に、資料No.12 をご覧ください。

土砂災害防止月間である6月に、自主防災会では、土砂災害に対する警戒避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的として、「土砂災害防災訓練」が実施されます。

全国統一訓練日である6月5日(日)には、市と連携した「モデル地区訓練」として千福が丘地区において、土砂災害警戒情報を想定して、避難訓練や指定避難所研修として県防災アプリを活用した避難者受入等の訓練やトヨタユナイテッド静岡株式会社様の支援により停電時を想定し FCEV(燃料電池自動車 ミライ)活用による給電展示を行います。

(メモ:千福が丘区以外に「土砂災害防災訓練」訓練を実施する自主防災会/15(5/26 現在))

最後に、株式会社十里木温泉が企画販売している「富士山健康美容温泉水」の「ももクロバージョン」が、当市のふるさと納税返礼品に登場しました。

ももいろクローバーZの新アルバム「祝典」の完成に合わせ、コラボ商品として地元の事業者が製造販売している「飲む温泉水」です。富士山麓の地下1500mからくみ上げたミネラルバランスのよい健康美容温泉水です。

ももクロメンバーのイメージカラーに合わせ、ピンク・赤・黄色・紫の4色でラッピングされ、当市のマスコットキャラクターの「すそのん」と、ももクロの4人のメンバーのかわいらしいイラストが描かれています。

500mlのオリジナルペットボトルが8本入ったセットが、寄付額1万円の返礼品として、ももクロツアーが開催される6月末までの限定品として、ふるさと納税サイト「さ

とふる」で扱っております。市内の3店舗でも1ケース税込み3,000円販売されております。

ももクロのツアーは、5月1日に当市の市民文化センターを皮切りに全国12都市で開催されております。当日のステージには私と副市長も実行委員会のメンバーとともに登壇し、全国各地から訪れたモノノフたちに当市のPRを行い、次年度のフェス「ももクロ春の一大事 2023」へのエントリーについても、立候補の意思を表明したところであります。

ももクロのツアーは折り返し点に差し掛かりましたが、ツアーに参加できない全国のファンには、ぜひ当市へのふるさと納税で「富士山健康美容温泉水」をお求めいただければ、誠にありがたいこととあります。

メディアの皆様にも、ご紹介のほどよろしく願いいたします。

次に、資料No.13をご覧ください。

当市ではスポーツツーリズムによる観光振興を推進しております。

5月21日に運動公園陸上競技場で開催しました「富士裾野高原ランニングフェスタ」の中で、タレントの福島和可菜さんに、裾野市スポーツツーリズム推進協議会のPR大使の役割を担うS-SPOアンバサダーを委嘱しました。

福島さんは東京マラソン財団のオフィシャルサポーターを務めておりますが、同財団と連携して、昨年12月に練習会を行った際、福島さんがゲストコーチとして裾野市へお越しいただいたことがきっかけとなり、当市スポーツツーリズム推進協議会(S-SPO)のアンバサダー委嘱が実現したものであります。

今後はS-SPOが取り組む事業への参画やSNSによる情報発信などを通じて、「準高地トレーニングができるまち裾野市」のPRや、観光振興に協力してもらうことにしています。

5月21日のランニングフェスタへは市内外から300人のランナーにご参加いただきましたが、和可菜さんは妹の舞さんと共にゲストランナー兼MCを務め、ランニングイベントを明るく楽しく盛り上げていただきました。秋には、再度練習会を計画しております。

近くなりましたら、ご案内いたしますので、メディアの皆様には今後の展開への期待と、PRをよろしくお願い申し上げます。

次に、資料No.14をご覧ください。

デジタル目安箱は5月19日(木)より運用を開始いたしました。以降5月31日(火)までに、提案13件、要望29件、意見10件、困りごと8件、合計60件の声をお寄せいただいております。

内容としては、日常적なお困りごともありますが、市政に対する建設的なご意見やご提案、中には激励といった内容のものも多くいただいております。それは市民の皆様が、裾野市を愛し期待していることの現れであると認識しております。

中でも、「裾野市に U ターンした同世代の仲間を増やしたい。そのためのトークイベントや、裾野だからこその良さを伝える機会を一緒に作って欲しい。」ですとか、「市 HP の問い合わせフォームを見やすく使いやすくするための提案」などの提案は、非常に参考になりましたし、ぜひ実施に向けて検討したいと思った次第です。

現在のデジタル目安箱は、1か月の試験運用を経て、その後の運用を再度検討することにしてはいますが、私の市政方針の根幹である「市民の声をじかに聞き、市政に生かす」ことを実践していくため、少しずつ運用を改善しながら継続してまいりたいと考えております。

以上で、私からの説明を終わらせていただきます。